



東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階 <https://www.jfa-tanzo.jp> 一般社団法人日本鍛造協会
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470 e-mail : forging@jfa-tanzo.jp
編集発行 広報委員会

令和7年度 協会表彰式を挙行

去る11月19日(水)、東京大手町KKRホテル東京「孔雀の間」におきまして、令和7年度協会表彰式を挙行しました。当団は、経済産業省 製造産業局 素形材産業室長 大今宏史 氏、一般社団法人日本鍛造協会 会長 松尾宗義 氏(代読 副会長専務理事 太田大介 氏)をご来賓に迎え、下記の表彰を執り行いました。
表彰されました方々並びに企業の皆様には心よりお祝い申し上げます。



功 労 者 表 彰

池田修啓 殿 大同化学株式会社 奈良生産技術事業所
品質保証部 部長
平成22年～令和4年 人材育成事業
　　鍛造マネージャー育成塾コース
　　「工具と潤滑」科目 講師

近藤靖之 殿 株式会社ニチダイ 技術部 技術推進課
平成25年～令和4年 人材育成事業
　　鍛造マネージャー育成塾コース
　　「精密鍛造と金型生産」科目
　　科目長並びに講師

安全衛生事業貢献表彰

『安全標語部門』
小林鍛工株式会社 近畿鍛工品事業協同組合 会員

人材育成事業貢献表彰

タンレイ工業株式会社 新潟県鍛造工業会 会員

優 良 従 業 員 表 彰

青木 広 殿	アサヒフォージ株式会社
田中秀樹 殿	アサヒフォージ株式会社
川橋庄栄 殿	近江鍛工株式会社
明楽浩二 殿	岡田工業株式会社
長坂一哉 殿	岡田工業株式会社
田中宣隆 殿	株式会社栗本鐵工所
福島幹夫 殿	株式会社ゴーシューホールディングス
野母徳穂 殿	サムテック株式会社
小松之茂 殿	サムテック株式会社
大塚和男 殿	岡南鍛工株式会社
梁井達也 殿	岡南鍛工株式会社
小久保嘉大 殿	岡南鍛工株式会社
青山文界 殿	万能工業株式会社
西村早苗 殿	株式会社峰山鉄工所
中川 浩 殿	株式会社メタルアート

第70回 理事会 議事録

開催日時 令和7年11月19日(水) 13時30分
 開催場所 KKRホテル東京
 理事総数 20名 出席理事 16名

●審議事項

第1号議案 令和7年度上期事業報告(案)承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、重点事項をはじめ協会活動、委員会活動及び会員の異動について説明した。

これについて議長が承認を求めたところ、全員異議なく承認した。

第2号議案 令和7年度上期収支決算報告(案)承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、令和7年度上期決算内容及び貸借対照表(案)について説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第3号議案 令和7年度下期収支予測報告(案)承認の件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、下期収支予測及び令和7年度決算予測について説明した。

これについて議長が質問及び意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

第4号議案 会員入会承認の件

議長の指示により、専務理事が資料に基づき、入会の申込みがあった下記企業について説明した。

【賛助会員(法人)】

中部電力ミライズ株式会社

ソリューション事業部 ものづくり革新部
(令和7年11月10日申込み)

これについて議長が意見を求めたところ、全員異議なく承認した。

●報告事項

1) 素形材産業取引ガイドラインの改訂について

(進捗状況)

議長の指示により、専務理事が資料に基づき、下請法・下請振興法改正法及びその改正に伴って、現在内容の修正、追記作業が進められている素形材産業取引ガイドラインについて説明した。

2) 第24回国際鍛造会議開催報告

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、同会議の開催概要を説明し、日本の鍛造業の業況報告を発表した朝日副会長よりコメントがあった。

3) 海外視察団受入れの件

議長の指示により、常務理事が資料に基づき、来年来日を希望しているインド鍛造工業会の若手メンバー及びEuroforge視察団に関して説明した。

市場調査委員会報告 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

受注見通し調査結果

(令和7年10月-12月期)

■調査対象企業数 156社

■回答社数 35社 (回答率22%)

○自動車向け○

★横ばい: 9社

【増加】(対前年同期比、以下同様)

9 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	3	2	1	1	—	—	—
自由 鍛 造	—	—	—	—	—	—	—
リング鍛造	—	1	—	—	—	—	—
併 業	1	—	—	—	—	—	—
合 計	4	3	1	1	—	—	—

要因: ・緩やかな業界景気の持ち直しによる。

- ・主要取引先の需要増加。
- ・主力部品搭載車両の台数増加。

【減少】(対前年同期比、以下同様)

9 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	4	1	—	1	1	—	—
自由 鍛 造	—	—	—	—	—	1	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	1	—	—	—	—	—	—
合 計	5	1	—	1	1	1	—

要因: ・米国関税の影響で減少。

- ・エンジン部品の生産終了に向けた数量減少。
- ・客先ライン改修のため、ライン停止があり受注量が減少。
- ・商用車向け、海外向け(インドネシア・タイ)の需要が回復しない。
- ・熱間用金型素材の減少。

○産業機械・土木建設機械向け○

★横ばい: 11社

【増加】

6 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	2	1	—	—	1	1	—
自由 鍛 造	—	—	—	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	1	—	—	—	—	—	—
合 計	3	1	—	—	1	1	—

要因: ・海外需要増によりランマー向け製品の受注増。

- ・輸出案件による一過性の特需。

【減少】

13 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	—	6	2	—	—	—	2
自由 鍛 造	1	—	1	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	1	—	—	—	—	—	—
合 計	2	6	3	—	—	—	2

要因：・半減であった建機部品が8割程度まで回復するが、米国関税問題で年末から不安。
 ・海外向け受注減。
 ・産業機械は昨年より回復基調だが、建設機械の世界的需要が減少してきた。
 ・取引終了にともなう大幅な売上げの減少。
 ・産業機械と建築物件の低迷による。

○輸送機械向け需要量○

★横ばい：11社

【増加】

7 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	—	3	1	—	—	—	—
自由 鍛 造	1	1	—	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	—	—	1	—	—	—	—
合 計	1	4	2	—	—	—	—

要因：・KD品、特に米国向け税品が増加。
 ・主要顧客の受注拡大。
 ・航空機向け需要が好調に推移。
 ・主要メーカーの復調に加え、値上げ反映が影響。
 ・産業エンジン関係のスポット受注により受注増。

【減少】

4 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	—	2	—	—	1	1	—
自由 鍛 造	—	—	—	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	—	—	—	—	—	—	—
合 計	—	2	—	—	1	1	—

要因：・不正問題が影響。
 ・受注低迷。
 ・海外向け足回り部品、北米関税の影響による減少。

行政より

総務省・経済産業省では、令和8年6月1日現在で、全国のすべての事業所・企業や団体を対象とした「令和8年経済センサス－活動調査」（統計法に基づく基幹統計調査）を実施します。

詳しくは、以下のURLから経済センサス－活動調査のホームページをご覧ください。 <https://www.e-census2026.go.jp/>

○その他向け○

★横ばい：11社

【増加】

7 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	—	1	2	1	—	—	2
自由 鍛 造	—	—	1	—	—	—	—
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	—	—	—	—	—	—	—
合 計	—	1	3	1	—	—	2

要因：・吊り具向け製品の受注増

・鉄道用車両部品が好調。

【減少】

12 (社)

	5%未満	5-9%	10-14%	15-19%	20-24%	25-29%	30%以上
型 鍛 造	3	3	—	—	—	—	3
自由 鍛 造	—	—	—	—	—	—	1
リング鍛造	—	—	—	—	—	—	—
併 業	2	—	—	—	—	—	—
合 計	5	3	—	—	—	—	4

要因：・半導体製造装置向けが回復の見込みなく、在庫調整続く。
 ・米国関税の影響。
 ・ロボット関連における中国市場の低迷。
 ・主に海外向け農業機械部品の世界的な需要低下、価格低下。
 ・半導体関連の受注減。
 ・鉄道軌道向け部品の入札待ち。

委員会開催報告



■第51回NL委員会

開催日：11月10日(月)11:00～

会 場：Web開催

【議題】

1. JFAの成り立ちについて
2. 日本工業炉協会との交流会
- ・交流会案検討
- ・当日のスケジュール案内



経済センサス
活動調査

令和8年6月1日

4月～5月にかけて調査を実施いたします。

回答はインターネットが
おすすめです。

郵送・FAX・電話による
回答もお受けいたします。

人材育成事業報告

◆令和7年度鍛造マネージャー育成塾コース

「科目9 精密鍛造と金型生産」実施

去る11月6日(木)~7日(金)に京都JAビル(京都府京都市)及び(株)ニチダイ宇治田原工場(京都府綾瀬市)において、2日間実施しました。

1日目は、精密鍛造金型の表面処理や工程設計、生産管理や設計について、座学講義を行いました。

2日目は、(株)ニチダイ宇治田原工場において、金型製作現場の見学を行った後、精密鍛造における金型寿命について座学講義を実施しました。その後、3班に分かれて「精密金型の破損・寿命対策」というテーマでグループワークを行いました。破損・摩耗の課題を定義し解決方法を討議し、発表しました。グループ討議中や発表後に、講師から丁寧な講評があり、学びを深める機会となりました。



◆令和7年度鍛工品製造業実践型人材養成コース

「教科8 冷間鍛造、教科9 検査」実施

去る11月4日(火)~5日(水)に、TKP千葉駅東口ビジネスセンター(千葉県千葉市)において、教科8及び教科9を2日間実施しました。

1日目は、座学の他、グループワークを交えながら冷間鍛造について学びました。

2日目は、座学中心に検査について学び、検査の重要性や検査機の管理について理解を深めました。また、午後には(株)ヤマナカゴーキンを訪問し、冷間鍛造機械の実演を見学した他、3S活動の徹底で5S活動に繋げていく取り組みについて学びました。



第2回 鍛造業若手社員海外研修の実施

国際交流委員会の企画による鍛造業若手社員海外研修の第2回目として、去る11月30日~12月4日に亘り台湾にて研修を実施し、8名の若手社員が参加しました。

研修内容は、台湾の特徴ある鍛造及び設備会社8社への企業訪問を実施しました。詳細は広報誌JFA No.93(1月発刊)に掲載予定です。

訪問企業

- ① 金豊機器工業股份有限公司
(CHIN FONG MACHINE INDUSTRIAL CO., LTD.)
- ② 天承精密鍛壓股份有限公司
(AL FORGE TECH CO., LTD.)
- ③ 申琦工業股份有限公司
(SANES PRESSES CO., LTD.)
- ④ 鍛歲工業股份有限公司
(TE WEI INDUSTRIAL CO., LTD.)
- ⑤ 益如實業股份有限公司
(ANQ RU INDUSTRIAL CO., LTD.)
- ⑥ 振鋒企業股份有限公司
(YOKE INDUSTRIAL CORP.)
- ⑦ 精鍛機械股份有限公司
(JING DUANN MACHINERY INDUSTRIAL CO., LTD.)
- ⑧ 金鍛工業股份有限公司
(KING DUAN INDUSTRIAL CO., LTD.)



MANYO

ビレットシャー 30TON~1300TON

フォージングロール FR120~FR960

プレス 50TON~3000TON

アブセッター 200TON~2300TON



Tel 06-6458-0481